



第 90 号
 発行人
 (一財) 福井県剣道連盟
 会長 岩崎 貞夫
 事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
 サンライズニの宮 1-B
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fukikendo@herb.ocn.ne.jp

二年後に迫った「福井しあわせ元気国体」に向け、選手強化事業を増強！

福井県剣道連盟の理事会が三月十一日（金）に、評議員会が三月二十日（日）に開催され、平成二十八年度の事業計画および収支予算案の審議がなされました。

特に選手強化については、福井国体強化指定選手を対象にした「福井国体に向けた新たな強化事業」として、強化・選考部会の成年委員会、高校委員会がそれぞれ強化事業を増強する計画です。

成年アスリート指定選手の強化としては、毎週行う強化稽古会のほか、七月、九月、一月、三月に愛媛県、大阪府、兵庫県、愛知県、岐阜県等の県外遠征を行います。

また、ジュニアアスリート指定選手の強化としては、毎月行う強化稽古会や六月、八月、一月、二月、三月の県立武道館での強化合宿

のほか、九州、石川県、高知県等への県外遠征を行います。
 今年度も引き続き、スーパードバイザーの佐藤成明先生、成年強化コーチの高橋俊昭先生、少年強化コーチの神崎浩先生にご指導をいただき、福井国体に向け、精力的に選手強化を進めてまいります。

◎福井国体に向けた選手強化費確保のため、特別協力資金のご協力をお願いします！◎

平成二十五年度から平成二十八年度の四年間にわたり、会員の皆様に、ご支援をお願いしています。「平成三十年第七三回国民体育大会福井大会剣道競技 特別協力資金」については、目標額一千二百八十万円に対し、平成二十七年年度末までに約五割弱の五百六十四万円のご協力をいただいています。

会員の皆様におかれましては、福井国体に向けた選手強化費の確保のため、なお一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

坂田豊嗣先生

県体協体育功労者賞を受賞

平成二十七年度の「公益財団法人福井県体育協会 体育功労者賞」に、県内二十五団体三十二名の方が選ばれました。福井県剣道連盟からは、元理事で現事務局員の坂田豊嗣先生が受賞され、一月十五日にアオッサで行われた表彰式において、県体育協会会長の西川福井県知事から表彰状が授与されました。



大会報告行事報告

第63回全日本剣道選手権大会

平成二十七年十一月三日(火)

於 日本武道館

この度、平成二十七年十一月三日
に日本武道館に於いて開催されまし
た第63回全日本剣道選手権大会に出
場しました。本大会は初出場であり
福井県代表ということもあり、プレッ
シャーに負けることなく、とにかく
全力を尽くし自分の剣道を貫く気持
ちで臨みました。

内容は一回戦で北海道代表の安藤
選手に試合時間内にメンを取られ一
本負けという結果で一回戦突破はな
りませんでした。自分の攻める剣
道が出来たので後悔はなにもありま
せんでした。

私が今回の大会に臨むにあたり、
職場での稽古内容で先輩方にこうい
う稽古がしたい等提案して、やらさ
れる稽古ではなく自分で求めて稽古
ができる良い環境を与えてもらいま
した。また県外の色々な高校、大学、
刑務所、警察に稽古に赴き、強い選
手の良いところを見て、聞いて、勉
強するとともに、自分の欠点を見つ
け、修正することができました。

今後は出場するだけでなく、上位
入賞を目指すこと、また、二年後の

「福井しあわせ元気国体」に向けて
一日一日の稽古を大事にして、少し
でも福井県の力になれるよう頑張っ
ていく所存でございます。

最後になりましたが、今回出場す
るにあたり応援してくださった皆様
に御礼申し上げます。

ありがとうございました。

(記 富田 成慈)



福井県剣道連盟 剣道・居合道 初稽古

平成二十八年一月十日(日)

於 福井県立武道館

例年になく暖冬で雪のない年明け
となった平成二十八年の福井県剣道
連盟「剣道・居合道 初稽古」が、
一月十日に福井県立武道館において
開催されました。

県内各地区から、小学生、中学生、
高校生、一般、計約一三〇名が参加
しての稽古会となりました。

剣道は剣道大道場で、全員での素
振りの後、一般が元に立って小中高
生が掛かる指導稽古、小中高生や一

般同士の地稽古と、気合十分に稽古
を行いました。

居合道は剣道小道場において、張
り詰めた空気の中、形の稽古など、
緊張感のある稽古を行いました。

参加者は今年一年の精進を誓い、気
持ちを新たにいたしました。

また、初稽古に先立ち、去る十一
月三日に全日本剣道連盟の剣道有功
賞を受賞されました本連盟副会長



小西清光先生の伝達表彰式が行われ、
岩崎会長から賞状と記念品が授与さ
れました。

平成二十七年度福井県

高等学校冬季選手権大会

平成二十八年一月十七日(土)

於 福井県立武道館

男子団体

優勝 敦賀高校

監督 岩谷 治彦

選手 馬淵 稜也

森下 大海

山川 健翔

富士原一真

増田 夏希

田中 大地

遊津孝太郎

第二位 藤島高校

第三位 高志高校

第三位 啓新高校

女子団体

優勝 敦賀高校

監督 岩谷 治彦

選手 鈴木里香子

小川 萌香

水野ひかる

小辻 朋未

富田 葉月

藤井 涼香

- 第二位 福井高校
- 第三位 美方高校
- 第三位 丸岡高校



**平成二十七年福井県
中学校冬季強化大会**

平成二十八年一月二十三日(土)
於 敦賀市立体育館
平成二十八年一月二十三日、平成二十七年福井県中学校冬季強化大会(トーナメント戦)が敦賀市立体育館にて開催されました。結果は以下の通りです。

男子団体トーナメント
準々決勝
明倫〇3―1△藤島

- 鯖江△1―2〇明道
- 中央〇4―0△丸岡
- 清水△1―2〇松岡
- 準決勝
- 明倫〇1―1△明道(代表戦)
- 中央〇2―1△松岡
- 三位決定戦
- 明道〇3―0△松岡
- 決勝
- 明倫△1―2〇中央

- 優勝 中央中学校
- 準優勝 明倫中学校
- 第三位 明道中学校

女子団体トーナメント
準々決勝

- 三方〇4―0△松陵
- 鯖江△1―2〇中央
- 今庄〇2―1△丸岡南
- 明倫△0―2〇森田
- 準決勝
- 三方〇5―0△中央
- 今庄〇0―0△森田(代表戦)
- 三位決定戦
- 中央△0―2〇森田
- 決勝
- 三方〇3―0△今庄

- 優勝 三方中学校
- 準優勝 今庄中学校
- 第三位 森田中学校

**第64回全日本都道府県対抗
剣道優勝大会県予選会**

平成二十八年一月二十四日(日)
於 福井県立武道館
一月二十四日(日)に「第六十四回全日本都道府県対抗剣道優勝大会福井県選手選考会」が福井県立武道館で開催され、計三十二名が参加し、熱戦を繰り広げました。
また、次鋒(大学生)の選考は二月二十八日に福井県警察学校体育館で八名が参加、三将(警察官)の選考は二月二十三日(福井県立武道館)で六名が参加して行われました。
各部門の一位が本年四月二十九日に大阪市で開催される都道府県大会の代表選手として出場します。

未満)

- 一位 富田成慈(福井刑務所)
- 二位 木瀬将盛(会社員・福井地区)
- 三位 西森英雄(公務員・越前地区)
- 三位 中村好伸(公務員・福井地区)

○中堅(教職員)

- 一位 林田匡平(筑波大学)
- 二位 坂本拓弥(教員・福井地区)
- 三位 西川航平(教員・南条地区)
- 三位 三井清喜(教員・福井地区)

○三将(警察官)

- 一位 前田浩由(福井県警機動隊)
- 二位 金子亮介(福井県警機動隊)
- 三位 鹿本裕登(福井県警機動隊)
- 三位 伊藤心平(福井県警機動隊)

○副将(一般 三十五歳以上)

- 一位 畑祐一郎(福井テレビ)
- 二位 川村信也(会社員・福井地区)
- 三位 名子朋宏(会社員・敦賀地区)

○大将(五十歳以上 剣道教士七段以上)

- 一位 堀江 範雄(福井県警察本部)
- ※一名のため、予選の試合はなし

- 次鋒(大学生)
- 一位 梅田圭仁(国土館大)
- 二位 畑手康伸(福井工大)
- 三位 鹿野正之(福井工大)
- 三位 堀江尚史(龍谷大)
- 五将(一般 十八歳以上三十五歳)

平成三十年「福井しあわせ元気 国体」に向けた交流強化試合

平成二十八年一月三十日、三十一日

於 福井県立武道館

一月三十、三十一日、福井県立武道館で、兵庫県、岐阜県の国体強化チームを招いて、国体強化練習試合が行われました。福井県からは、成年アスリート、強化指定選手合わせて十八名が参加し、兵庫県、岐阜県と男女それぞれ二チーム、四コートに分かれて練習試合を行いました。今回の試合には、スーパードバイザーの佐藤成明先生、成年強化コーチの高橋俊昭先生にもお越しいただき、試合後に実戦上での心構えやアドバイスを指導してくださいました。(以下、先生方からのアドバイスです)

佐藤先生

・「試合」は「試し合い」の場である。日頃の稽古の成果を出す上で、打たれてもよいから、もっと思いきった技をだしていった方がよい。

・「試合」は基本の応用である。その応用を自在に繰り出すには、日頃からの基本の積み重ねが重要である。

高橋先生

・今まで積み重ねてきたものが、確実に形になってきている。しかし、

技を出す部分で甘い所がある。なんでもない所を不用意に打つのではなく、自ら攻めた所、誘った所で打突できるように。また、打った所を確実に決めて一本にできるように。

・相手に打たれた所は、自分も打てる所である。そのためにも日頃から試合での動きを意識して稽古に取り組みなくてはならない。

・男女とも引き技をもっと練習する必要がある。罅迫り合いは休憩ではない。もっと相手を崩し、正面、左右、様々な所から技を繰り出さなくてはならない。

第25回北信越高等学校剣道 新人大会

平成二十八年二月六日(土)〜七日(日)

於 砺波市庄川体育センター

女子団体予選リーグ

Aブロック

美方 0 | 0 帝京長岡

美方 0 | 2 富山北部

Cブロック

北陸 2 | 0 松代

北陸 2 | 1 高岡

Eブロック

敦賀 2 | 2 金沢桜丘

敦賀 1 | 0 呉羽

Gブロック

丸岡 2 | 1 羽咋

丸岡 3 | 2 龍谷富山

Hブロック

福井 1 | 3 上田染ヶ丘

福井 0 | 2 新潟商業

女子団体決勝トーナメント

北陸 0 | 0 高岡工芸

丸岡 0 | 3 新潟商業

準決勝

北陸 0 | 3 新潟商業

第三位 北陸高校

男子団体予選リーグ

Bブロック

啓新 2 | 3 金沢

啓新 2 | 0 龍谷富山

Dブロック

藤島 2 | 1 富山中部

藤島 1 | 4 新潟明訓

Eブロック

敦賀 3 | 0 新潟

敦賀 3 | 0 高岡

Hブロック

高志 2 | 1 富山南

高志 0 | 2 長野商業

男子団体決勝トーナメント

敦賀 1 | 0 金沢桜丘

準決勝

敦賀 1 | 1 新潟商業

決勝

敦賀 1 | 2 新潟明訓

第二位 敦賀高校



第10回福井県ジュニア育成 強化剣道大会

平成二十八年二月七日(日)

於 福井県立武道館

一年生の部

優勝 長山 侑生

(木田剣道スポーツ少年団)

準優勝 奥田 心道(福井養正館)
 第三位 常田和太郎(福井養正館)
 第三位 新道 光莉
 (金津少年剣道教室)

二年生の部

優勝 下 寛人
 (丸岡スポーツ少年団)

準優勝 山本 紀仁
 (王子保スポーツ少年団)

第三位 大石 杏早
 (新風館愛宕坂道場)

第三位 前田 恭吾(福井養正館)

三年生の部

優勝 山川陽太郎(福井養正館)

準優勝 東海 来夏(福井養正館)

第三位 岩崎 成生
 (越前少年剣道クラブ)

第三位 山田 優生
 (今立剣道スポーツ少年団)

四年生男子の部

優勝 伊藤 朋哉
 (王子保スポーツ少年団剣道部)

準優勝 三原 大和
 (織田剣道スポーツ少年団)

第三位 森 陽輝
 (鯖江剣道スポーツ少年団)

第三位 三船胡太郎 (五常館)

四年生女子の部

優勝 重永 花歩
 (福井少年剣道クラブ)

準優勝 砂長谷真緒
 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

第三位 矢田 桃子
 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

第三位 松田 彩愛
 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

五年生男子の部

優勝 宇野 竜明
 (今立剣道スポーツ少年団)

準優勝 玉村 一心
 (今立剣道スポーツ少年団)

第三位 川嶋 士蓮
 (福井東部少年剣道教室)

第三位 佐藤隆太郎
 (木田剣道スポーツ少年団)

五年生女子の部

優勝 龍田 遥夏
 (今立剣道スポーツ少年団)

準優勝 加藤 咲希
 (坂井剣道スポーツ少年団)

第三位 藤井 奏香
 (王子保スポーツ少年団剣道部)

第三位 永棹 泉希
 (金津少年剣道教室)

六年生男子の部

優勝 奥村 龍也
 (向笠剣道スポーツ少年団)

準優勝 植村 啓吾
 (木田剣道スポーツ少年団)

第三位 森 恵誠
 (鯖江剣道スポーツ少年団)

第三位 塚田 悠
 (鯖江志土樹館道場)

六年生女子の部

優勝 安野 有香
 (福井東部少年剣道教室)

準優勝 梅原 陽乃
 (神山剣道スポーツ少年団)

第三位 木村真理子
 (今庄剣道スポーツ少年団)

第三位 宇野 光咲
 (松岡少年剣道教室)

**第七十一回国民体育大会
 (岩手国体) 選手選考会**

平成二十八年二月二十一日(日)、
 二月二十八日(日)、三月二十日(日)

於 福井県立武道館

本年十月に開催される第七十一回
 国民体育大会(岩手国体)の本県出

場選手の選考会が行われました。

岩手国体に出場する成年男子の部お

よび岩手国体の出場権をかけて八月

二十八日に長野県で行われる北信越
 国体に出場する成年女子の部の選手
 は次のとおりです。

○成年男子の部

先鋒 林田匡平 (筑波大学)
 次鋒 金子亮介 (福井県警機動隊)

中堅 畑祐一郎 (福井テレビ)
 副将 中村英紀 (気比中学校教員)

大将 惣次 勇 (福井県警察本部)

○成年女子の部

先鋒 伊藤藍子 (啓新高校教員)
 中堅 山田聖子 (福井高校教員)

大将 森 宜子 (森齒科医院)

地区連盟だより

**第18回宮川旗争奪中学生
 剣道選抜錬成大会**

平成二十七年十二月十三日(日)

於 福井県立敦賀高校 体育館

福井県立敦賀高校剣道部OB会主

催により第18回宮川旗争奪中学生剣

道選抜錬成大会が開催されました。

13府県42校、男子39チーム、女子33

チームの参加でした。

大会結果

男子の部

優勝 福井元気国体チーム
 (福井県選抜)
 第二位 香芝東中学校 (奈良県)
 第三位 福井しあわせ国体チーム
 (福井県選抜)



- 第三位 西浜中学校 (和歌山県)
 - 女子の部
 - 優勝 那賀川中学校 (徳島県)
 - 第二位 山室中学校 (富山県)
 - 第三位 平坂中学校 (愛知県)
 - 第三位 比叡山中学校 (滋賀県)
 - 最優秀マナー校
 - 男子 香芝中学校 (奈良県)
 - 女子 鶴城中学校 (愛知県)
- 開会式後、筑波大学名誉教授 佐藤 成明先生の講演会が開催された。
第18回宮川旗争奪中学生剣道選抜大会
成大会 実行委員会 中村 英紀

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

丹生地区剣道連盟

丹生地区剣道連盟は当初、鯖江市剣道連盟の傘下であり、丹生郡内の剣道愛好家は、福井、武生や鯖江市の連盟や職域等で稽古をしていました。その過程の中で郡内居住の剣道愛好家たちが「丹生郡にも独立した剣道連盟を作りたい。」という思いになり、鯖江市剣道連盟の同意を得て、県剣道連盟、武生市剣道連盟等のご指導や助言を戴き、昭和五十年に創立致しました。以来四十数年間小さな所帯ながらも、会長を中心に力を合わせて活動しています。

管内の少年剣道は、朝日・越前・織田の三ヶ所にあります。各々地元の会員が指導者として少年たちの指導に当たり、青少年の健全育成に役割を担っています。ここ近年、各錬成大会、道場大会等に参加して好成績を得るまでになってきました。また最近、学業を終え社会人として地元へ帰ってきて、竹刀を握る若い子たちが増えて、稽古に参加してくるようになりました。このことは、当連盟にとっても大変喜ばしいことであ

り、重要な事なので、その若い人達を繋ぎ止める為にも、一昨年より月二回の合同稽古会開催を努力目標として、稽古に励み懇親を深め、当連盟の発展のため会員一同懸命に頑張っています。

- 年間行事
 - 一月 寒稽古会 (第四日曜日)
 - 四月 総会
 - 六月 第一回級位審査会
 - 七月 夏季合同合宿
 - 八月 県民スポーツ祭
 - 九月 県剣道大会
 - 第二回級位審査会
 - 十二月 丹生郡少年剣道錬成大会
 - 一月 寒稽古会
 - 二月 第三回級位審査会
 - 一般稽古会
 - 毎月第二水曜日 (織田勤労者体育館)
 - 毎月第四土曜日 (朝日小学校体育館)
- ともに九時から十時まで
現在の一般の登録会員は二十名で、役員は以下の通りです。

顧問 鈴木 治 磨
会長 北野 左 京

- 副会長 福島 一郎
- 理事長 梅野 秀一
- 副理事長 渡邊 文夫
- 事務局 水島 真吾
- 傘下剣道スポーツ少年団及び学校
- 朝日少年剣道
- 越前少年剣道クラブ
- 織田剣道スポーツ少年団
- 朝日中学校
- 越前中学校
- 織田中学校
- 清水中学校
- 丹生高校



芦原剣道スポーツ少年団

芦原剣道スポーツ少年団は、1年生から6年生まで合計20名であわらし武道館にて毎週月曜・木曜2時間の稽古をしています。

普段の稽古は、団旗に掲げられている「剣心」をモットーに、剣道を通して心を鍛え、礼節を重んじるとともに、基本に忠実な剣道を指導するように心掛けています。また試合では勝ち負けにこだわらず相手を敬い感謝するよう常々言い聞かせ、剣道を通して人間形成を目指しています。当スポーツ少年団は、過去には100名をこえる生徒が在籍していま



したが年々生徒数が減少し、一時は存続の危機に陥る時もありました。しかしながら近年では父兄の方々の熱心な普及活動により入団者も増えはじめました。生徒は、過去の栄光の証として飾られているトロフィーや賞状を眺めながら新しい伝統を築こうと一生懸命です。

元旦には今年で38回目を迎えた初稽古が行われ小学生から一般のたくさんの方々が参加しました。参加する生徒が社会に出ても剣道を続け、仲間を大切に地域に貢献できるように日々の稽古を充実させていきたいです。

東陽中学校剣道部

私たち鯖江市東陽中学校剣道部は、一年生男子四名と女子二名の計六名で活動しています。三年生の先輩方が今年の夏に引退してから、部員は一年生だけになりました。頼りになる先輩がいなく最初は不安でしたが、今では同じ学年のみんなと協力することの楽しさを感じながら、日々の練習に取り組んでいます。

男子は小学生の時から経験者ばかりですが、基本を大事にしながら更なる技術の上達を目指して練習しています。女子はほぼ初心者なので、剣道におけるマナーや試合のルール



など覚えることも多くあって大変ですが、試合で力を出せるよう練習したり、他校と合同チームを組んで大会に出場したりすることで、自分たちの技を磨いています。

上級生がいな分、私たちは一年生の時から試合に多く出場することができます。様々な試合での経験を生かしながら、「一致団結」をモットーに全員が試合で活躍できるように練習に励みます。

美方高校剣道部

美方高校は、昭和四十四年に開校し、創立47年目の、周囲を三方五湖

や三十三間山をはじめとする豊かな自然に囲まれた学校です。

剣道部は、故小堀源治郎先生の教えを大切にして「沈着勇断」の部訓もと、男子6名女子6名マネージャー1名の計13名の少人数ですが活気ある部活動です。現在は、冬季練習として「正しく強く美しい剣道」の習得を目指して日々の稽古に励んでいます。目標は「男女インターハイ出場」、それを達成するために厳しい稽古にも耐え、互いに励まし合い、そして地域の先生方に支えられながら頑張っています。今年度は、女子が北信越総体で団体初優勝を飾り、個人でも全国総体に出場を果たしました。

普段の稽古は、素振り・追い込み・基本稽古・地稽古・懸かり稽古と基本的な稽古を中心とした2時間程度の短い時間を集中して取り組み、本校の目標である「文武両道」を心がけ、学業にも力を入れています。剣道部から多くのOB・OGが福井大学をはじめとする国公立の大学や私大などに進学して地元へ帰り後輩の育成に尽力しています。

剣道部では、剣道を通して人間形成を図り、社会に求められる人、応援される人に成長できるように、周りのために自分には何ができるかを考えて行動させ、地域から愛される



部活でありたいと考えています。そのために熱心に指導してくださる先生方や保護者、地域の方々からのサポートに感謝の気持ちをもって活動し、頑張っていけますので、これからもご指導のほどをよろしくお願ひします。

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十七年十一月二十二日(日)

於 福井県立武道館

「初段」五十一名

- List of names and schools for the 1st Dan (初段) category, including 佐竹 勇飛 (武生中一年), 五十嵐 嵩生 (坂井中一年), etc.

「貳段」三十五名

- List of names and schools for the 2nd Dan (貳段) category, including 大 林 和輝 (永平寺中二年), 大 町 直生 (春江中二年), etc.

- List of names and schools for the 3rd Dan (参段) category, including 宇 野 介祥 (松岡中二年), 梅 田 隼仁 (藤島中二年), etc.

六段	長谷川峻	右	(福井)
七段	四ツ木善一	(南条)	(坂井)
七段	近藤高士	(越前)	(坂井)
七段	朝倉匡哉	(越前)	(坂井)
八段	岩本卓也	(坂井)	(越前)
教士	道内博道	(福井)	(坂井)
教士	米納智弥	(坂井)	(越前)
錬士	山田昭榮	(越前)	(鯖江)
錬士	加藤昌広	(鯖江)	(越前)
称号・六段以上合格者			
「五段」四名	高橋泰平	(会社員)	
	長澤いづみ	(教員)	
	丸山晃生	(教員)	
	小玉完嗣	(会社員)	
「四段」二名	坂本拓弥	(教員)	
	前田将崇	(記入なし)	
「参段」十名	牧野純士	(福井高二)	
	並河 椋	(福井高二)	
	古久保 神衣	(福井高三)	
	川井昌之	(大学教員)	
	水上 憲二	(会社員)	
	木村 依音	(福井大四年)	
	松永 侑子	(福井大四年)	
	先山 惠美子	(福井大五年)	
	森崎 友理	(会社員)	
	雁子 佑貴	(主婦)	



岩本卓也先生八段昇段祝賀会

平成二十八年二月二十日(土)

於 福井県織協ビル

- 六段 宮本 徹也 (福井)
- 六段 江指 惠 (丹生)
- 六段 村中 守 (福井)

昨年十一月二十六日に東京武道館で行われた剣道八段審査会において、本県の岩本卓也先生が見事合格されました。合格率〇、五パーセントの超難関の厳しい審査会において、本県四人目となる八段合格者の誕生は、本県剣道界にとって一層の活性化に

つながるものであり、当連盟会員の方々にとっても大きな励みとなる誠に喜ばしいことであります。

二月二十日には、福井県織協ビルにおいて、岩本先生の八段昇段を祝し、県剣道連盟主催の祝賀会が開催されました。

岩本先生には、岩崎会長から八段昇段のお祝いと来る福井国体に向けて様々な面でご活躍を期待したいとの言葉がかけられ、記念品として剣道具の目録が贈られました。



岩本先生は、今後ますますの精進と本県剣道界を牽引されるべく力強い決意の言葉を述べられました。

また、参加された五十余名のご来賓、連盟の役員、会員の方々からも次々とお祝いの言葉がかけられ、祝賀会は盛会のうちに終わりました。



【訂正】

剣道だより89号で「第38回全国スポーツ少年団剣道交流大会福井県予選会」の記事において「交流の部 第3位」が「高浜スポーツ少年団」となっておりましたが、「美浜スポーツ少年団」の間違いでした。深くお詫びいたします。

第六十五回全国小・中学校作文コンクール(低学年の部)において福井県審査・最優秀賞(読売新聞社賞)を受賞された、川瀬乃音さんの作文を紹介させていただきます。

「大好きな剣道」

福井市明新小3年 川瀬乃音(かわせのん)

ある日、スーパーで買い物をしてお店を出たときのことです。お母さんが、わたしを見て、とつぜんわらいだしました。わたしは、スーパーの自動ドアのところまで、ふり返って一礼をしていたからです。

わたしは、剣道を習っています。習いはじめて一年がたちました。週に二回のけい古が大の楽しみです。剣道の先生が、

「剣道は礼に始まり礼に終わる。」

と教えてくれました。はじめに、先生が言うので、道場に入るときや出るときにかんしゃの気持ちを含めて礼をしていました。そして、礼をするくせがついて、スーパーの出入口でも礼をしてしまったのです。

わたしは、剣道がとても好きです。でも、そのけい古はつらいこともあります。冬は足のうらがジンジンするぐらい冷たくなるし、夏は面をつけるとサウナみたいにあついです。それでも剣道をつづけるのは、大きな声を出して竹刀ですぶりをするとスツキリするからです。とくに、いやなことがあつた日は「やあー。」と大きな声を出すと、わたしの頭の中にいる小人さんが、頭の中をそうじしてくれているようにかんじます。もう一つたとえると、悪い空気の入った風船がパンとわれるように、頭の中からいやなことがはなれていきます。自分でこんな

に大きな声が出るのかとびつくりします。

けい古では、先生たちはきびしいこともあります。ぼう具をつけるのになれるまでが、とても大へんでした。先生にほめられたくて面をつける練習を泣きながら家でやりました。頭の後ろでちようちよ結びが上手になるように、何ども面をつけたりひもをほどこいて外したりをくり返しました。そして、先生に、「よーし、合かく。」

と、面の上から頭をポンポンとされたときは本当にうれしかったです。先生はよく、

「練習した分はちゃんと自分のためになる。」と言います。そのことがよく分かりました。

わたしは、まだ試合に出たことがありません。早く試合に出てみたいです。はじめての試合にかつまけるか、まだ分からないけど、先生の言う「練習した分はちゃんと自分のためになる。」というのをもう一ど味わいたいのです。そのために、まず「礼に始まり礼に終わる。」という礼をしつかりかんしゃの気持ちを含めてしようと思います。道場に入るときに、いい礼ができれば、もっとけい古もがんばれる気がします。今まで習ってきたことをわすれないで、これからも剣道を一生けんめいやっていきます。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616